

| | | | |
|--------|-----|-----|--------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 前期 | 4 | 2 | 選択 |
| 担当教員 | | | |
| 三木 慰子 | | | |
| 金1、金4 | | | |
| 添付ファイル | | | |
| | | | |

| | |
|----------|--|
| 科目の概要 | 子どものための文学を深く学ぶことで人としての感性を磨き、人としての心を豊かにし、保育者や教育者といった専門的職業人としての職域で活かせるように努める。 児童文学とは何か、その歴史を踏まえ、表現方法を学び、文学の持つ力を探る。 |
| 授業の内容 | <p>1 半期講義ガイダンスとクイズ「年中行事・記念日」 半期講義内容についての説明。 お気に入りの児童書の紹介についての発表の説明。 クイズ「年中行事・記念日」</p> <p>2 クイズ「年中行事・記念日」 前回の続き。クイズの解答確認</p> <p>3 児童文学とは、季節の絵本紹介 児童文学に関する説明 『はらぺこあおむし』の作者と絵本紹介。ビデオ『はらぺこあおむし』の鑑賞をする。ビデオと絵本の比較。</p> <p>4 お気に入りの児童書レジュメ作り① お気に入りの児童書を持参する。同書との出会い、著者、内容、他の出版物に関する調査をコンピュータ室で行い、レジュメを作成する。</p> <p>5 お気に入りの児童書レジュメ作り② お気に入りの児童書との出会い、著者、内容、他の出版物に関する調査をコンピュータ室で行い、レジュメを作成する。</p> <p>6 児童書の比較① 11種類の『かちかちやま』の絵本を比較し、グループでテーマを決めて、ディスカッションを行う。</p> <p>7 児童書の比較② 11種類の『かちかちやま』の絵本を比較し、グループでテーマを決めて、ディスカッションを行う。</p> <p>8 児童書の比較③ 11種類の『かちかちやま』の絵本を比較し、グループでテーマを決めて、ディスカッションを行った結果をもとに小論文を作成する。</p> <p>9 お気に入りの児童書についてのプレゼンテーション① お気に入りの児童書についてのプレゼンテーションを行う。聞き手はチェックシート（よかったところと改善点）を記入する。</p> <p>10 お気に入りの児童書についてのプレゼンテーション② お気に入りの児童書についてのプレゼンテーションを行う。聞き手はチェックシート（よかったところと改善点）を記入する。</p> <p>11 お気に入りの児童書についてのプレゼンテーション③ お気に入りの児童書についてのプレゼンテーションを行う。聞き手はチェックシート（よかったところと改善点）を記入する。チェックシートを発表者に渡し、各自、プレゼンテーションの感想を改善点をまとめる。</p> <p>12 児童書の実演① 児童書の表現方法について説明する。『桃太郎』の話を素話、紙芝居、朗読劇、パネルシアター・エプロンシアターを使っての発表するためにグループで練習を行なう。</p> <p>13 児童書の実演② 『桃太郎』の話を素話、紙芝居、朗読劇、パネルシアター・エプロンシアターを使って発表をする。</p> <p>14 児童書の実演③ 『桃太郎』の話を素話、紙芝居、朗読劇、パネルシアター・エプロンシアターを使って発表をする。</p> <p>15 まとめ これまでの授業のまとめ。授業アンケートを実施。</p> |
| 学習到達目標 | “文学”を学ぶことの意味を考える。そして、授業を通して、豊かな心を築き、将来保育者や教育者になったときに、何を幼い子ども達に伝えるべきか、自身の中で一つの回答が見出せることを目標とする。 |
| 授業の方法 | 児童書に関してはコンピュータ室で情報収集を行い、各自プレゼンテーションを行う。また、児童書で扱っているテーマに関してはグループディスカッションを行う。児童書を子どもたちに提供する方法として、素話、朗読劇、ペープサート、エプロンシアターなど実演の機会も設けている。 |
| 成績評価の方法 | 受講態度（15%）、提出物（25%）、発表点（10%）、小論文（50%）で総合評価する。 |
| 教科書・テキスト | プリントを配布する。 |

| | |
|---------------------------|--|
| 参考書 | 授業中に説明する。 |
| 授業時間外の学修について（事前・事後学習について） | たくさんの児童書に関するもの（映画、テレビなども含む）に触れてほしい。そして、必ず原書を読むこと。授業中のプレゼンテーションなどから得たクラスの人からの意見を参考に今後活かすこと。 |
| 履修上の留意事項 | 定期試験はないため、授業には必ず出席し、提出物を出すこと。 |
| オフィスアワー | 研究室は1号館307。昼休みは学習支援室にすることが多い。前期の講義は月1、火3・4、金1・2・4。 |
| 担当教員への連絡方法 | y-miki@osaka-aoyama.ac.jp |
| その他 | |